



額部小だより

令和4年度 No. 12

令和4年11月24日

富岡市立額部小学校長 萩原 太

Tel. 62-0737 Fax. 62-0947

<http://nukabe-es.nc.tomioka.ed.jp>

【学校教育目標】高い知性と豊かな人間性を身につけた実践力のある児童の育成する
【知】本気で【徳】やさしく【体】元気よく

授業参観(10/27)

保護者の方に普段の学習の様子を見ていただく授業参観を行いました。密にならないように3校時と4校時を公開しました。88名の方にご来校いただきました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

県陸上大会(10/28)

10月28日(金)県の陸上教室が行われました。本校からは6種目8人の選手が参加しました。

男子50mハードルでは西耕平くんが3位になりました。他の種目でも、甘楽富岡の代表として、他の市町村の選手と競い合いながら、堂々と競技できました。自己ベストを更新した選手も続出しました。



廃品回収、ありがとうございました(11/6)

秋晴れの中、第2回の廃品回収が行われました。段ボール、雑誌、新聞紙といった紙類のみの回収となりましたが、保護者の皆様や地域の方々のご協力により、無事終了することができました。

廃品回収の収益金は児童の教育活動に使わせていただきます。本当のありがとうございました。



人権集会 (11/8)

「人を祝福する言葉や笑顔で、額部小学校を天国のような学校にしたい。今、人気アニメなどでも、『死ね』とか人を傷つける言葉があふれています。たとえ、軽い気持ちであれ、ふざけ半分であれ、言われた人はどうでしょうか。」

松谷みよ子さんの絵本「わたしのいもうと」の読み聞かせから、いじめがまわりに生み出す地獄のような状況について児童に考えてもらいました。言った側は軽い気持ちからか、自分が口から発した呪いの言葉を忘れてしまいます。しかし、言われた側はずっと心の傷として残っています。自分の口にした言葉は、相手が聞くだけではありません。自分の耳が一番先に聞いています。相手のダイヤモンドのような心を汚すだけでなく、自分のダイヤモンドをも曇らせてしまいます。だから、人のよさを認める言葉、祝福する言葉を口にしよう。人権朝礼の話でした。



6年生修学旅行 (11/9・10)

3年ぶりの鎌倉旅行。総合の時間に調べたことを実際に自分の目で見てみる。これが修学旅行です。900年前、その場所で歴史が動いた。それをふれたり感じたりしてきました。途中計画どおりに進まなくなってしまったことがあっても、仲間と相談して乗り切るという姿も見られました。学びの多い旅行となりました。



鎌倉班別活動 (建長寺)



小町通りでは買い物三昧



大仏前で記念写真



海に散歩に行きました



宿ではおかわりも



国会議事堂の中